

CO₂削減に貢献する環境に優しい取り組み サーマ・スラブ

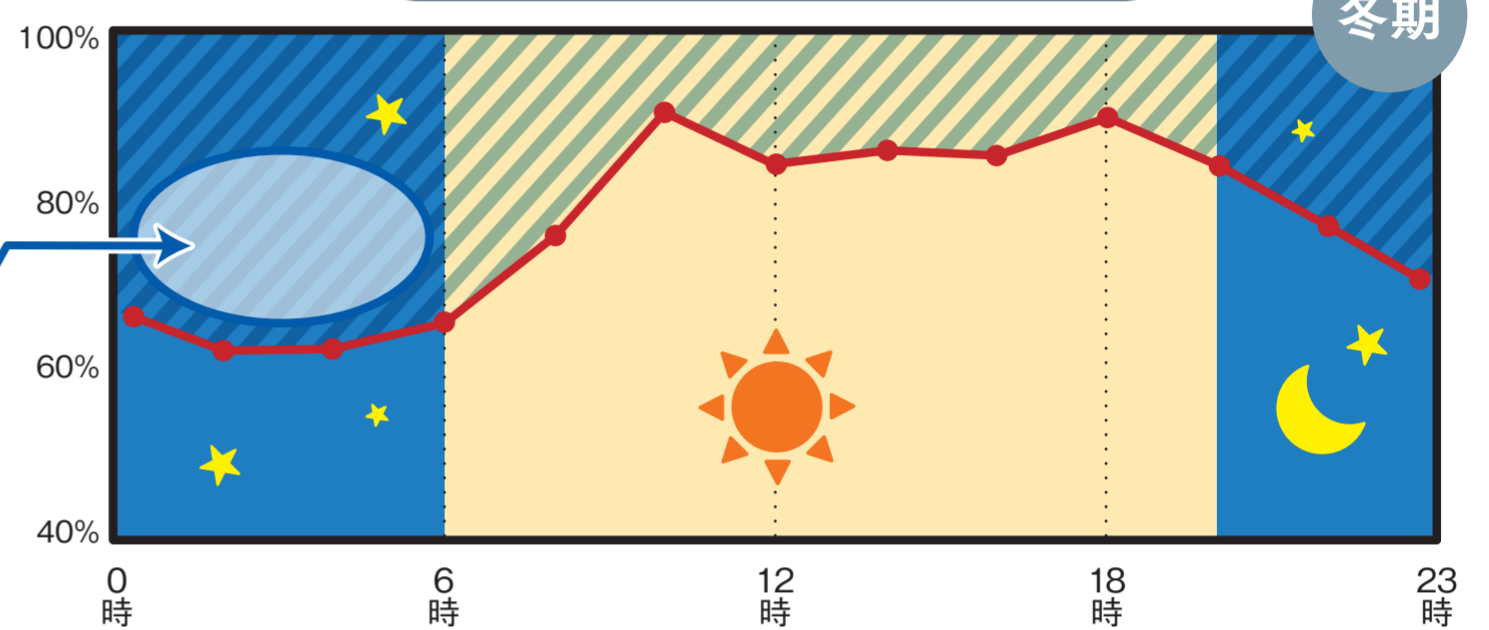
サーマ・スラブは、自然の恵、地球の特性を活かした暖房システムで地中に貯めた熱を床からのふく射で室内を暖めます。

昼間電力のピークカット

電気エネルギーを熱エネルギーに換えて地中に貯める！主に夜間電力を使用し昼間電力のピークを減らすことで、『電力負荷平準化』と『節電』で社会貢献することができます。

電力使用が少ない時間帯の電力を使用

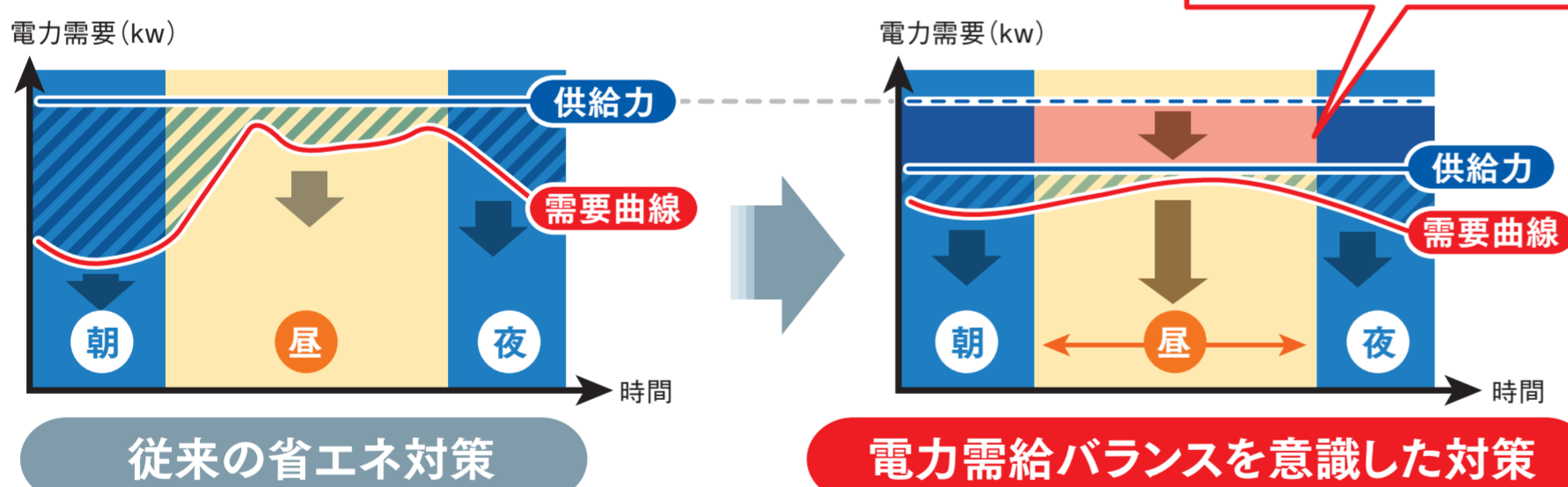
1日の電力使用率のイメージ



これからの省エネは「時間がポイント！」

発電の際にはCO₂を排出しています。ピークを減らさないと、本来のCO₂削減はできません。

ピーク電力の使用が減ればCO₂の削減にも貢献できる！



💡 ご存じですか？

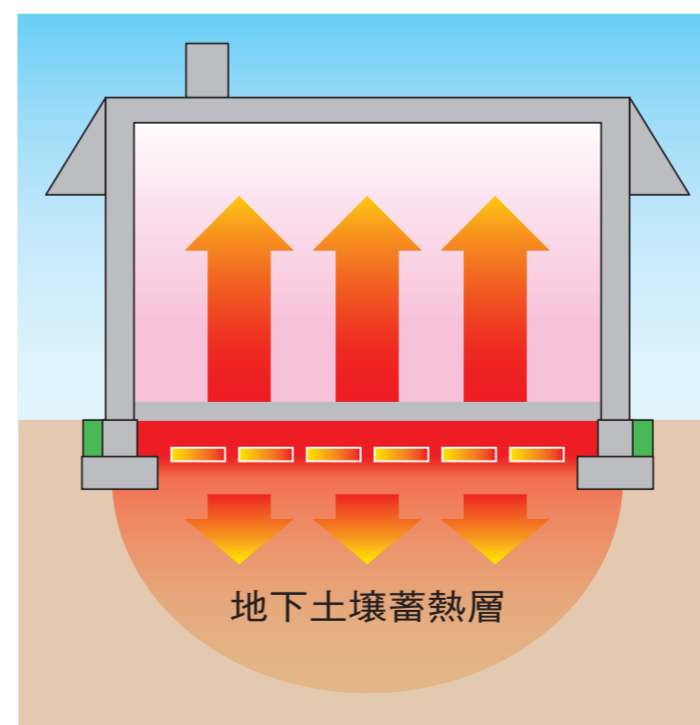
電気は、ほとんどためることが出来ない！

ヨーロッパ・北米などの大きな大陸の電力需給網の中では時差があり電力を融通し合うことが可能です。一方日本は島国で、また時差が無い為使わない電力は捨てられてしまうのが現状です。

地中蓄熱式暖房

地中へ放熱された熱は逃げ切らずに地下2m程度の深さで留まり、蓄熱層を形成します。冬は地中温度が地表面温度より高い状態になっており、深くなればなるほど温度は高くなります。地中へ放出された熱は均衡する地中温度域で移動が止まり結果的に自然の蓄熱層を形成するのです。この発見が弊社の特許であり、サーマ・スラブ™なのです。

〈イメージ〉



〈実測データ〉

